平成24年２月14日

各　　位

会 社 名　株式会社デジタルアドベンチャー
代 表 者　代表取締役社長　　矢島 重比古
（JASDAQ・コード　　4772）
問合せ先　管理本部長　　大山　智子
ＴＥＬ　　03-5772-7291

業績予想値と実績値との差異、および特別損失等計上に関するお知らせ

平成23年７月11日に公表しました平成23 年12月期（平成23年４月１日～平成23年12月31日）連結業績予想および個別業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。また、特別損失および営業外費用を計上いたしましたのでお知らせいたします

記

１．平成23 年12月通期連結業績予想数値と実績値の差異　　（平成23年４月１日～平成23年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,327	△118	△109	△130	△2.40
実績（B）	3,906	94	67	△52	△0.97
増減額（B－A）	579	212	176	78	
増減率(%)	17.4	－	－	－	
（ご参考）前年同期実績（平成23年３月期第３四半期）	4,658	△458	△503	△649	△11.97

（注）当社は当連結会計年度より決算期を３月31日から12月31日に変更しております。このため、当連結会計年度は４月１日から12月31日までの９ヶ月間となっており、前年同期（平成22年４月１日から平成22年12月31日まで）を参考として記載しております。

２．平成23 年12月期通期個別業績予想数値と実績値の差異　　（平成23年４月１日～平成23年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,500	△180	△180	△180	△3.32
実績（B）	3,064	83	90	△15	△0.28
増減額（B－A）	564	262	269	164	
増減率(%)	22.6	－	－	－	
（ご参考）前年同期実績（平成23年３月期第３四半期）	3,435	△524	△550	△682	△12.57

（注）当社は当事業年度より決算期を３月31日から12月31日に変更しております。このため、当事業年度は４月１日から12月31日までの９ヶ月間となっており、前年同期（平成22年４月１日から平成22年12月31日まで）を参考として記載しております。

３．業績予想値と実績値の理由

個別業績については、売上高は、デジタルコンテンツ配信事業において既存サイトの売上減少に歯止めがかからなかったことにより減少したものの、ライツ＆コミュニケーション事業において翌期以降に予定していた所属アーティストのイベントが当連結会計年度において開催されたこと、物販事業においてＣＤ、ＤＶＤ、イベントグッズ、およびアーティスト関連グッズの販売が好調であったことを主な要因として、売上高が前回公表予想を大きく上回っております。

一方、営業利益は、イベントにおけるコストの徹底管理、平成23年９月６日に公表の「グループ事業再編の方向性の決定および人員削減の実施に関するお知らせ」の実施に伴う人件費減少等により前回公表予想を大きく上回り、経常利益は、急激なウォン安による為替差損を計上、当期純利益は、人員削減の実施に伴い特別損失として特別退職金の計上等はあったものの、売上高が予想を大きく上回ったこと等により前回公表予想を大きく上回っております。

連結業績についても、個別業績の差異理由により、売上高、営業利益、経常利益および当期純利益において、全て前回公表予想を上回っております。

４．特別損失および営業外費用の計上について

（１）内容

・特別損失

平成23年９月６日に公表の「グループ事業再編の方向性の決定および人員削減の実施に関するお知らせ」による人員削減を実施しました結果、特別損失として特別退職金55,645千円、不採算サイトの閉鎖等の要因により固定資産除却損23,813千円、減損損失13,095千円、また来期に本社の移転を決定したことに伴い事務所移転損失引当金繰入額35,482千円を計上しております。

・営業外費用

ウォン建て決済用資金において、急激なウォン安による為替評価替の結果、営業外費用として為替差損33,345千円を計上しております。

（２）今後の見通し

上記の特別損失の計上は、本日発表の「平成23年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映されております。

以上